

## ●巾着網(中部標本船)

- カタクチイワシは、8月に豊漁となり、昨年より好漁であった(図1)。
- マイワシは、7月から9月にかけて漁獲され、近年では好漁であった(図2)。

## ●船びき網(南部標本組合)

- イワシシラスは、5月から12月にかけて漁獲が継続し、非常に豊漁であった(図3)。
- イカナゴは、昨年に比べて漁期は長かったが、不漁であった(図4)。

## ●サワラ流し網(南部標本組合)

- サワラは、春漁は5月を中心に豊漁であり、秋漁は8月から11月にかけて豊漁であった(図5)。

## ●アナゴ籠(中部標本組合)

- マアナゴは、1月から7月頃までは漁獲があったが、8月以降は休漁日が増加しほとんど漁獲がなかった(図6)。

## ●小型底びき網

### 石げた網(中部標本組合)

- シタ類は、年間を通して平年並みかやや多めの漁獲であった(図7)。
- メイタガレイは、年間を通じて平年以上の漁獲があり、好漁であった(図8)。
- マコガレイは、年間を通して、昨年・平年以下の漁獲であり、不漁であった(図9)。
- ヒラメは、年間を通してほぼ平年並の漁獲であったが、12月が豊漁であった(図10)。
- ネズツポ類(ガッチョ)は、5月～9月は平年以上の漁獲があり好漁であったが、10月以降は不漁であった(図11)。
- キスは、1月～4月にかけて平年以上の漁獲があり好漁であったが、夏から秋にかけて漁獲が低調となった(図12)。
- 小エビ類は、夏から秋にかけて昨年以下の漁獲であり、年間を通じて平年以下の漁獲であった(図13)。
- ガザミ(ワタリガニ)は、年間を通じて昨年以下の漁獲であったが、平年以上の漁獲があった(図14)。

図1

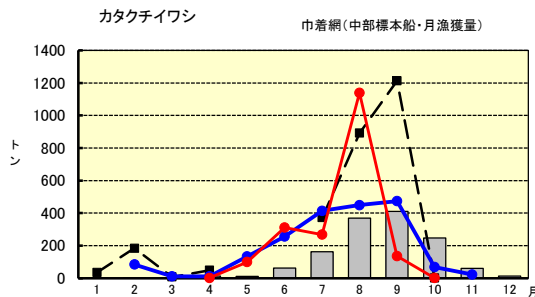


図2

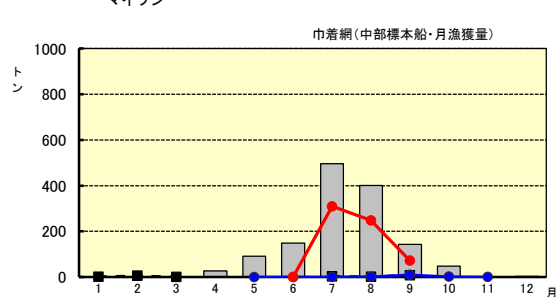


図3

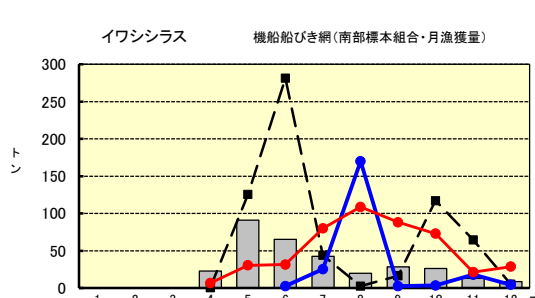


図4

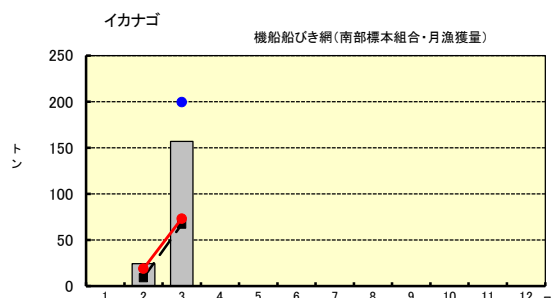


図5

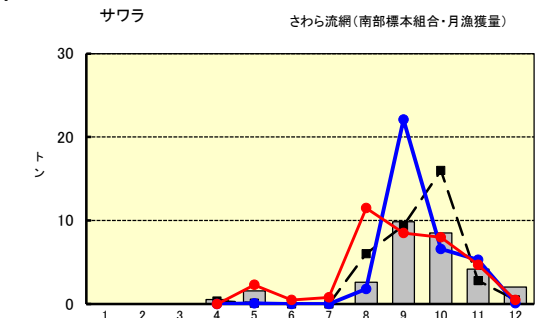
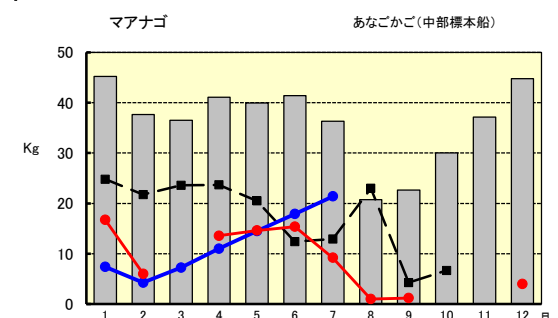


図6



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。(図1～5は、月漁獲量を示す)

■ 平年値      ● 平成24年      ● 平成23年      -■- 平成22年

図7

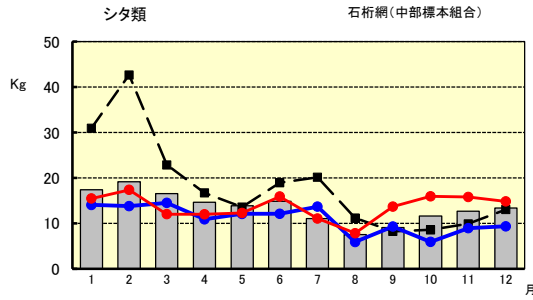


図8

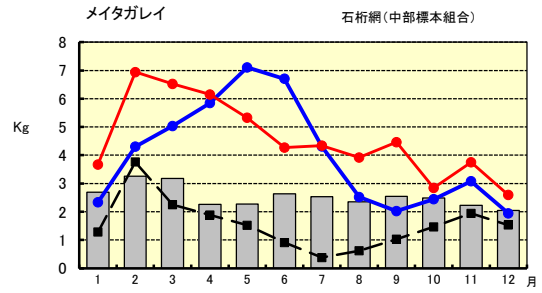


図9

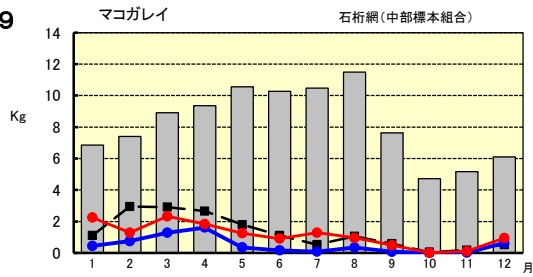


図10

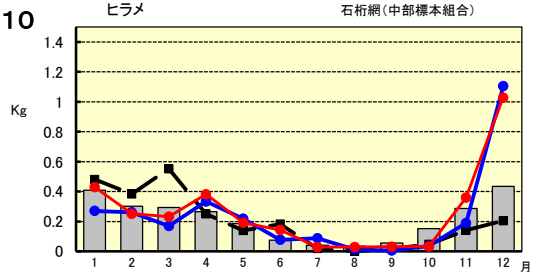


図11

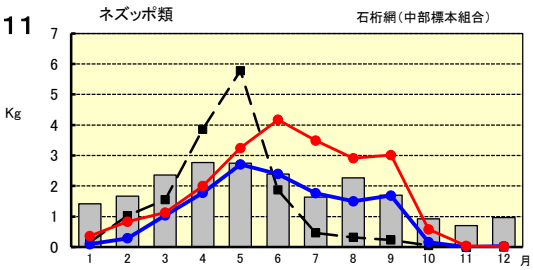


図12

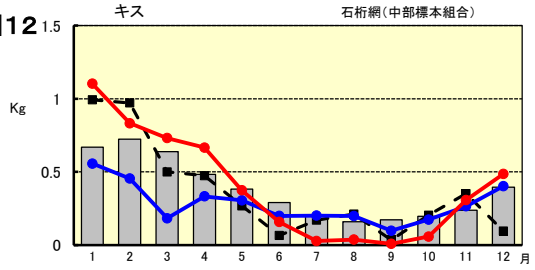


図13

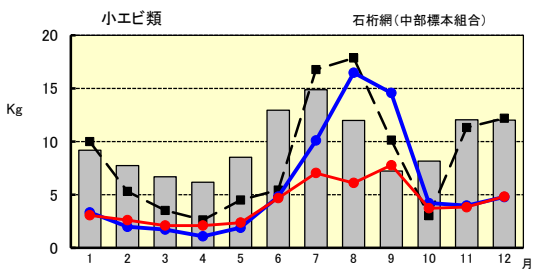
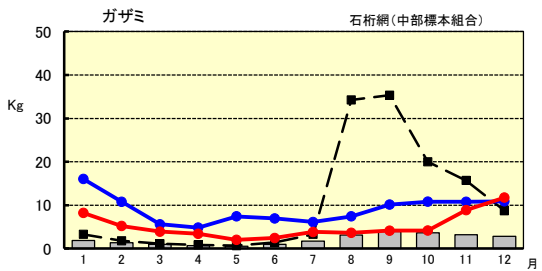


図14



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値      ● 平成24年      ● 平成23年      -■- 平成22年

○ヨシエビ(シラサ)は、年間を通じて昨年より漁獲が減少し、不漁であった(図15)。  
 ○クマエビ(アジアカ)は、9月から漁獲が始まり、10月・11月は昨年を大きく上回り豊漁であった(図16)。  
 ○シャコは、昨年と同様に年間を通じて、不漁であった(図17)。  
 ○トリガイは、1月から6月にかけて豊漁であったが、7月以降は平年並みの漁獲であった(図18)。  
 ○コウイカ類は、年間を通じて平年以上の漁獲があり、特に、9月から12月にかけて豊漁であった(図19)。  
 ○マダコは、年間を通じて平年以下の漁獲であり、特に、7月・8月は不漁であった(図20)。

図15

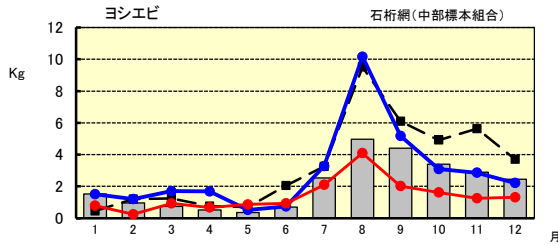


図16

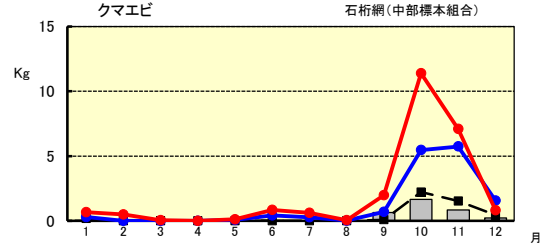


図17

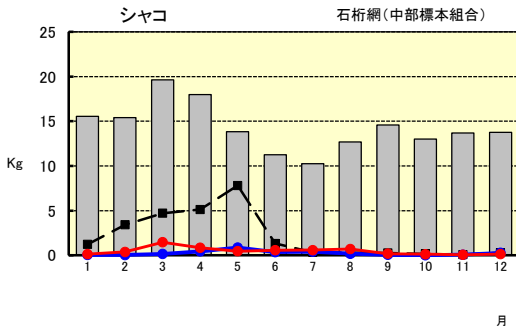


図18

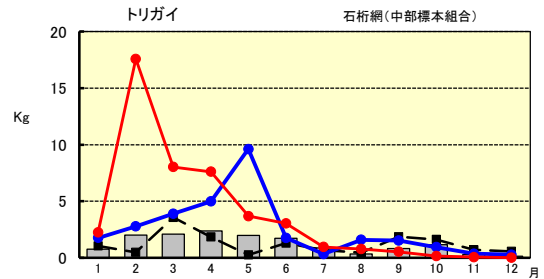


図19

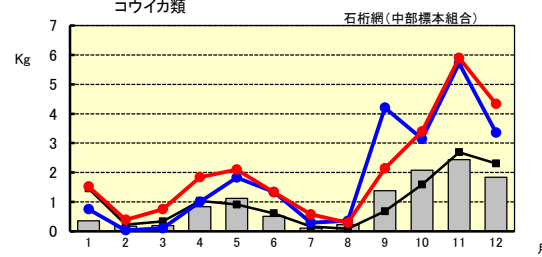


図20

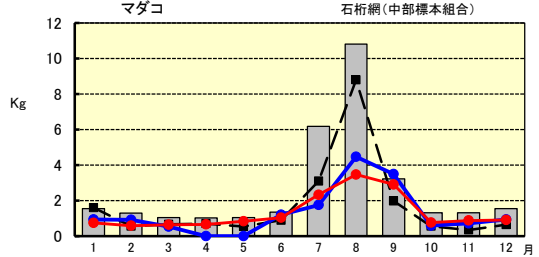


図21

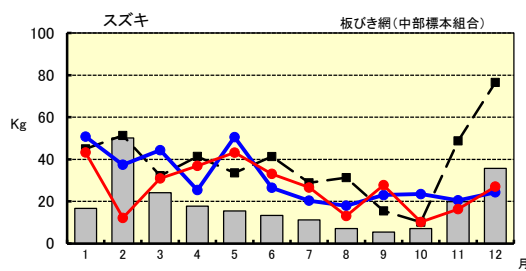


図22

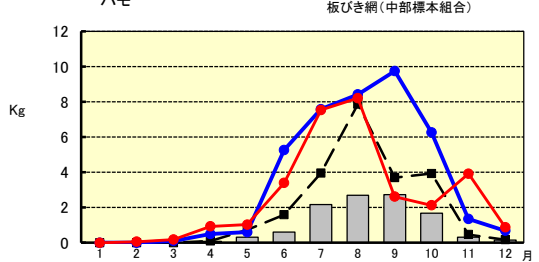


図23

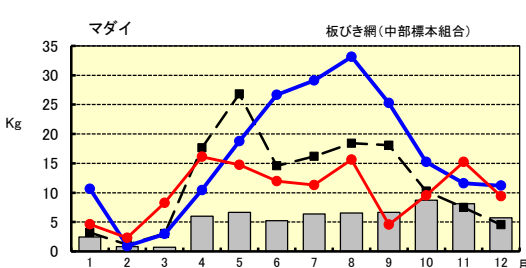
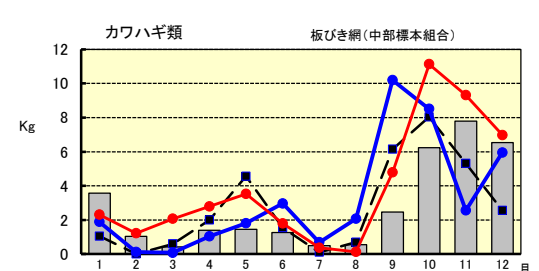


図24



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値      ● 平成24年      ● 平成23年      ■ 平成22年

● 小型底びき網

板びき網

- 中部のスズキは、ほぼ平年以上の漁獲があったが、昨年より1月から3月の漁獲が少なかった(図21)。
- 中部のハモは、6月～8月にかけて平年以上の漁獲があったが、9月・10月は昨年以下の漁獲であった(図22)。
- 中部のマダイは、年間を通じて、ほぼ平年以上の漁獲があったが、昨年より減少した(図23)。
- 中部のカワハギ類は、2月から6月にかけてと、9月から12月にかけて平年以上の漁獲があった(図24)。
- 中部のマナガツオは、昨年と同様に、10月から12月にかけて漁獲が急増した(図25)。
- 中部のイボダイ(ウゴゼ)は、8月に漁獲が増えたが、年間を通じて平年以下の漁獲であった(図26)。
- 中部のクロダイは、昨年の11月から今年1月にかけては、好漁であったが、昨年より漁獲が減少した(図27)。
- 中部のシログチは、1月～7月にかけて、昨年以下の漁獲であったが、8月以降は平年以上の漁獲があった(図28)。
- 中部のマダコは、7月から9月にかけて漁獲が増加したが、年間を通じて平年以下の漁獲であった(図29)。
- 南部のハモは、4月から12月にかけて、平年以上の漁獲があったが、昨年より減少した(図30)。
- 南部のカワハギは、8月から12月にかけて昨年以上の漁獲があった(図31)。
- 南部のコウイカ類は、2月と6月と9月から11月にかけて昨年以上の漁獲があった(図32)。

図25

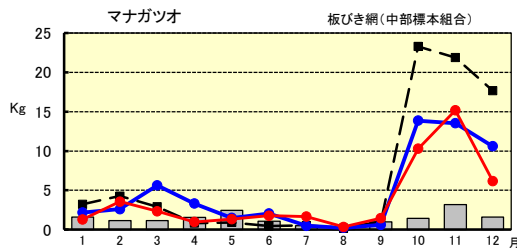


図26

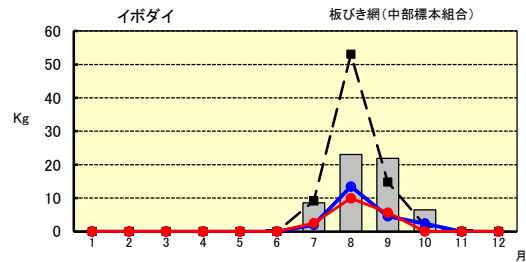


図27

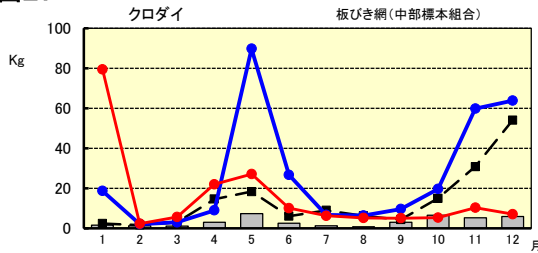


図28

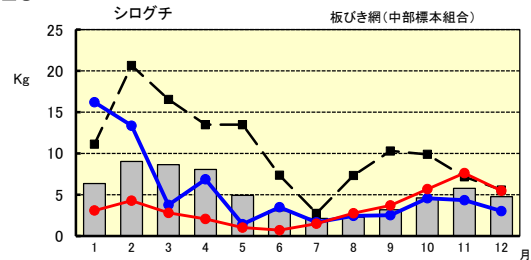


図29

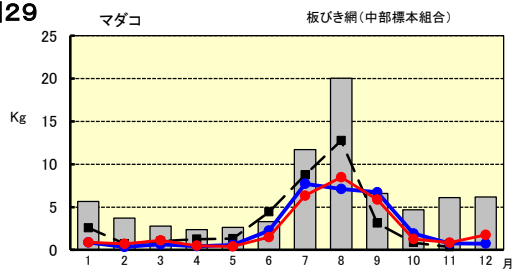


図30

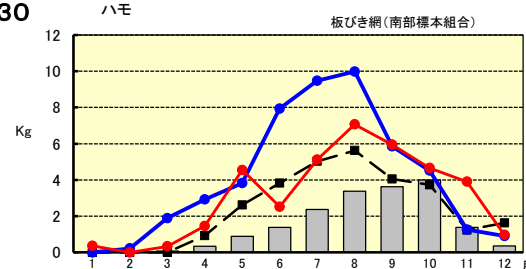


図31

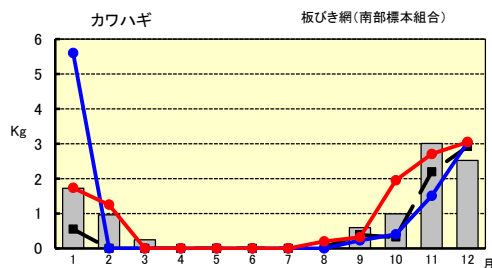
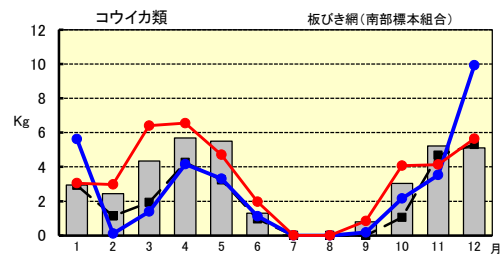


図32



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値      ● 平成24年      ● 平成23年      -■- 平成22年